

SLE、JDM の再燃マーカーとしての interferon stimulated genes の有用性に関する研究

研究・実務責任者

所属 リウマチ科 職名 部長

氏名 中岸 保夫

連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、中岸までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2020 年 2 月 7 日から 2026 年 5 月 31 日までの期間に当院にて SLE または JDM と診断され、治療を受けられた方

『免疫疾患における新規自己抗体・抗原・バイオマーカーの探索』に参加された方

『遺伝性疾患診断のための網羅的解析およびバイオマーカー探索研究』に参加された方

2 研究課題名

SLE、JDM の再燃マーカーとしての interferon stimulated genes の有用性に関する研究

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院

4 本研究の意義、目的、方法

全身性エリテマトーデス (SLE)、若年性皮膚筋炎 (JDM) の治療は病勢の活動性を抑制する「寛解導入」と活動性が抑制されている状態を維持するための「寛解維持」の 2 フェーズがあります。寛解導入の治療選択と達成、寛解維持療法への移行や再燃評価においては、臨床症状と非侵襲的バイオマーカー (抗 ds-DNA 抗体、補体価、血沈、各種自己抗体など) を評価して包括的評価の上、決定します。寛解を維持できた患者さんにおいては、副腎皮質ステロイドの減量中止を目指すことが多いですが、どのような患者さんにおいて減量中止が可能か、あるいは、どのような患者さんにおいては再燃しやすいのかについては、明らかとなっていません。そこで本研究では、再燃を予測可能なバイオマーカーを見出すことを目的とします。

5 協力をお願いする内容

カルテ上にある診療録、検査の結果等の臨床情報を研究のために使用します。
また残余検体を京都大学へ送付し、インターフェロン遺伝子を解析します。
残余試料を使用するため、患者さんにあらたに採血をすることはありません。

6 本研究の実施期間

登録期間：臨床研究等倫理審査委員会承認後～2029年4月30日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報とは、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

リウマチ科 科長 中岸 保夫 連絡先電話番号 078-945-7300（平日9:00-17:00）

以上